



校長室だより

第 2 8 号

令和3年10月20(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

5年生が稲刈りをしました

10月19日(火)朝から、5年生が稲刈りを行いました。6月に植えた稲が80cmくらいにまで成長し、稲穂も垂れていました。田植えからこれまで、長寿会をはじめ、地域の方々に水の調整、草刈りなどお世話をしていただきました。

はじめの会は、只野心都さん、堀秀成さんが司会を務めました。加藤莉央夏さんが「今日はお忙しいところ集まっていたいただいてありがとうございます。これまでお世話していただいた稲も立派に成長しました。今日の稲刈りもよろしくお願いします。」と児童代表の話をしました。長寿会の方から、稲刈りの仕方について説明を受け、早速稲刈り開始です。

先日の雨で、田んぼはぬかるんでいて、足場があまりよくない状況でした。しかも、初めて鎌を使う子供たちもいて、最初は刈ることに苦戦していました。長寿会の方から、鎌の使い方、刈り方を教えていただきながら、上手に刈ることができるようになってきました。担任の荒川先生は、稲を束ねることが難しかったようですが、こちらも教えていただき、長寿会や保護者の皆さまと一緒に(私も含めて)子供たちが刈った稲を束ねていました。

花山合宿での賜物でしょう。子供たちは協力し合って稲刈りを楽しんでいました。慣れてきた子供たちは、私の予想以上に早く刈り取っていました。刈り取った稲は、ほんによ掛けし、天日干しをします。

ぬかるんでいる田んぼに足を取られ、「足が抜けない!」と訴える子供も。気が付けば、田植えの時と同じように泥だらけになっている子供たちがいました。

子供たちは貴重な体験をさせていただきました。高橋龍毅さん、佐々木杏奈さん、渋谷海美さんの司会の下で行った終わりの会では、高橋蒼空さん、今野啓心さん、掛地兼太さんが感想を発表しました。3人とも、地域の方々への感謝の気持ちと、教えてもらいながら鎌で刈ることができたことをうれしく思う、ということをお話していました。

私からは、稲刈りの体験をすると、ご飯がおいしく感じるよ。いろいろな人の手を掛けてもらって、食することができることに感謝しましょう、と話しました。

コロナの状況次第ではありますが、今年は餅つきを実施できればいいなと考えています。地域の皆様、5年生の保護者の皆さま、ありがとうございました。

